

バス停からの 小さな旅



02 バス停プラザちゅうたい(古井駅・可児川駅線) からのアート散策

プラザちゅうたいと中央図書館の最寄りとなるこのバス停では、二つのアート作品を観ることが出来ます。

まず下米田出身の画家・山田貞實(1915～2000年)がデザインした、プラザちゅうたいホワイエの巨大な赤い壁画(7m×25m、1973年制作)。絵具の重厚さと鮮明な色を特徴とする抽象画を描いた作家らしい力強い造形です。作家は壁画について、美濃加茂の歴史と風土に思いを巡らせ「洗心・雄飛・希望の光乾・坤に満つ」と記しました。

次に太田出身の彫刻家・佐光庸行(1941～1995年)の石彫『知の積層』(1987年制作)。下米田出身の歴史学者・津田左右吉の記念碑として中央図書館の玄関に建てられています。この彫刻は「自分の背丈以上の原稿を一生のうちに書きたい」という津田の思いをイメージして作られました。高く積み重ねる石が紙のように軽やかに曲線を描き、知的な場に相応しい平穏な面持ちです。

壁画も彫刻も、その場所にある意味を考え、作られています。目的と合わせて、バスを使った「アート散策」も楽しんでみませんか。



今回乗車したバス

古井駅—可児川駅線
4便に乗り

10時59分 美濃太田駅南口
11時01分 プラザちゅうたい
アート散策

11時22分 プラザちゅうたい
11時24分 美濃太田駅南口

※まちなかぐるっと線のバス停「野尻整形外科」からも、プラザちゅうたいや中央図書館へ行くことができます



▲佐光庸行作『知の積層』

▲プラザちゅうたいホワイエにある山田貞實がデザインした壁画